

単元名 きせつのことば1

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。
 (2) 経験したことや想像したことから書くことを見付けることができる。
 (3) 言葉の働きに気付き、経験を文章に表そうとする。

標準的な展開例

02010104_001

【教材名】春が いっぱい (上 P.30～P.31)

【準備等】春発見カード、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 春に関わる言葉を探し、発表する。 ★春を感じる言葉を見付けよう。 ○「はなが さいた」を音読する。 ○春に関わる言葉を見付け、発表する。</p> <p>○見付けた言葉をまとめる。</p> <p>2 春発見カードに自分の感じた春について書き、感想を交流する。 ★自分の感じた春を発見カードに書こう。 ○「はなが さいた」を音読する。 ○どんなものを見たときに、春の訪れを感じるか、発表する。 ○春を感じたときの経験を文章にしてカードに書く。 ○書いたものを読み合い、お互いのカードについての感想を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詩のリズムを感じさせながら音読させる。 ・教科書の言葉や挿絵を手がかりに、春に関わる言葉から想像したことを話したり、自分たちで探したりさせる。 ・校庭や登下校で見付けたものや店で売っているものなど、児童の経験につなげていく。 【評】季節を感じる言葉を楽しんで探し、共有する活動を通して、言葉のもつよさに気付こうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・見付けた場所ごとに分けたり、生き物、草花、食べ物、感じたことなどに分けたりして、言葉をワークシートに分類させる。 【評】春に関わる言葉を探してまとめる活動を通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付く「知識・理解」を評価する。 ・春発見カードなど、四季を通じて同じ形式のカードを使い、1年分のカードを綴じるなどして、児童が季節の移り変わりを振り返られるようにする。 ・さまざまな花が咲く春のイメージを表現するように音読させる。 ・前時のワークシートなどを基に「春がきた」と児童自身が感じたことを発表させ、イメージを広げさせる。 ・実感が伴わない児童には、テレビや絵本などで見た春でもよいことを伝える。 ・見付けたものやそのときの気持ちをカードに書かせる。 ・教科書(P.30)を参考にさせる。 ・文章だけでなく絵を描き、言葉とイメージがつながるようにしてカードを書かせる。 ・グループなどでお互いのカードを交流し、さまざまな春があることに気付かせる。 ・言葉集めに使用するワークシートや、春を感じたときの経験を絵と文章でかいたカードは、掲示したり、クラスで一冊に綴ったりして、互いの作品を読み合う機会を作るとよい。 ・発見カードとワークシートをまとめて綴り、学習の振り返りができるようにまとめるのもよい。 【評】カードに文章を書く活動を通して、経験したことを文章で書き表そうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】春を感じたときの経験をカードに書く活動を通して、経験したことや想像したことから書くことを見付ける「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】